

議したるニ鈴木会長は、現在大坂造船労働組合ノ綱領ハ條りニ  
理想ニ趨リタルニ認メラレシム之ヲ變更スルノ不可ナキハ如キモ是ヲ  
条件トセズ只兩者了解ノ下ニ變更スルコトトセハ不可ナキレトシ之  
然ラズ思ヒタシトシテ会社側ハ依然強硬ナル態ヲ度マセシ

十七日午右之時天王寺公會堂ニ於テ友愛會大坂聯合會ヲ主催ス  
傷回題演説會開催、聴衆約千五百名(大部ハ藤永田職工ニシテ在  
友相法等目下争議中ノ職工一部加リ)野田律太ヲ座長ニ推シ  
決議文及宣言ヲ朗読シ満場拍手禮ニ可決、次ハ平井美人  
外十一名ノ演説アリ労働者高聲ヲ三唱シ全十時解散セリ  
全解散後藤永田職工約百名ハ労働歌ヲ唱ヘテ造船所前  
野田前方面ノ表路ヲ通過シ任意良解散セリ  
尚右夜演説會ニ白ハントセル荒畑勝三外二名挨拶東セリ

決議文

- 一 我等ハ團體交渉権ヲ要求ス
- 一 我等ハ横断組合ノ外断シテ資本金家ニ譲ラズ
- 一 我等ハ工場主意思ノ為メニ工場委員制度ヲ採用主  
張ス

大正十一年六月十七日

全大坂労働者大會

(六月十七日)

職工側ハ幹部員ノ敬励及友愛會側ノ応援ニ倚賴シ有利ナル解決ヲ期  
待セルニ今社ノ態度硬化シテ更ニ譲歩ノ色ナク既業旬日ニ亘リ尚  
解決ノ曙光ヲ認めルヲ得サルヲ以テ一部ノ強硬派ハ最早強硬ナル運動ハ  
何等効ナキヲ知り決死ノ覚悟ヲ以テ最良ノ手段ニ訴フル外ナシトシ矯激  
ナル自暴的言辭ヲ発スルモノアリトモ多ク教職工ハ精神氣力感ニ結末駭後